

# 託兒所の教育的意義

三 好 豊 太 郎

## 一、緒 言

社會の制度の中には其發生が極めて複雑なるものが多いのです。教育の中には殊に此種のものが少くないのであつて政治的なもの社會的なもの經濟的なものゝ其々が一つの教育制度の中に織り込まれて居るのを見るのです。例へば教育行政の如きは其政治的なものゝ現れであり、學校内の祝賀の儀式は社會的な例の一つであり學校内部の購買組合等は經濟的なものゝ例でせう。之には尙更多くの證明も要ることゝ思はれますが、多數の人に賛成され得ることと思ひます。茲に述べようとする託兒所に就いても、茲の原理を以て見ますと容易に了解さるゝものであつて、純然たる教育制度の延長とも見るべき幼稚園と、尙社會政策の延長とも見るべき託兒所との間に存する差異は明白にさるゝことゝ思はれるのです。

現在に於ける託兒所は尙社會政策的の對象となつ

て居ることが多く、未だ判然とした教育的形態を備へて居ないのですが、是は蓋し託兒所事業の尙過渡時代に逍遙せるの致すところで決して長くかゝる低徊時代にあるものではないでせう。それが眞に教育的に自覺し、幼稚園よりも更に個性に對する基礎教育としての眞の價値を見出さるゝことが次第に現はれて來るに相異ない。教育の進歩が恰も政治に社會に經濟に諸種の要素を取り入れたと同じく一つの社會事業をも取り入れるに至ることは、教育の進化の上からも考へられねばならぬことであるからであります。而して然かも上の様な要素を取り入れて其れを教育化したと同じく、矢張り託兒所も教育化せられねばなりません。否より多く教育化されねばならなくなるでせう。

## 二、東京市内外の託兒所

私は託兒所教育を如何にすべきやと云ふ問題に入るに先だちて、東京市内外の託兒所の數を瞥見する

に最近の調査に依れば東京市内に二十個所児童千四百人市外に十七個所児童千五〇人を數ふるの有様であつて、市の内外を合せると三十七ヶ所約二千五百人の數であります。其等は殆んど宗教家、特志家、工場主等の行ふもので公立のものとしては僅かに江東橋に一ヶ所あるのみであります。之を幼稚園と比較すると幼稚園は大正八年度の統計に依れば公立の二、四〇〇人私立の四、七一八人といふ比較に對して大きな相異と云はねばなりません。斯様に大多數の託児所が私立の經營になることは、大いに注意を要するものであらうと思はれます。一體公立にする種々の悪い方面も出來ますが同時に組織や設備に就いて割合に大規模にやることが出來ます現在の私立託児所に於ては努て此弊害を避け、互に意見を交換し、各自の經驗を尊重する様な態度を進めて行きたいと思ひます。此の事は特に誕生して日の淺いかかる事業に従事する方々の特に注意を乞ひたいと思ふ點であります。

### (三) 託児所児童の特長

託児所の児童は概ね労働者の子女であります。幼稚園の様に上中流の家庭の子女を扱ふものとは非常

に違つて居ります。此點は特に注意を要する點であつて、生れながらにして重い遺傳や環境の壓迫の爲に心身共に不健全なるものが多いのであります。私は東京市の不良少年の研究を唯今進めて居りますが斯様な貧民の子弟には殊に不良少年とする素質が多いのでありまして、體の種々な故障例へば眼疾、咽喉病、消化器病等が其々精神に倦怠を起させ仕事を厭はせ、怠惰浮浪の惡癖を養成することゝする譯であります。井の頭感化院生は近眼なものが約八割を占めて居ります。是等の身體の障礙が不良少年の素地を作ることは誠に明かな事でありますから、彼等は潜在性不良少年の名を與へても良いと思ひます而かも其の原因は遠く乳幼児時の時に萌して居るものでありますから此時代の教育特に労働者子女の教育には此方面を忽にすることが出來ないことゝ思はれるのであります。

精神的に見ましても両親が充分に陶冶されない心情と生活に脅かさるゝ不安とを絶えず感じて居る彼等の少年は意志的にも感情的にも理智的にも種々なる缺陷あることを免れませんが殊に著しいものは感情の淘汰と思ひます。荒んだ性質の所有者に例へ豊

富な理知の背景があつて其れは何によるものでせう。ドストエフスキの小説「罪と罰」の中にラスコリニコフが高利貸の婆さんを殺して、煩ひ惱んで居る處があります。誠に彼は露西亞の大學生生活が與へた理性偏重の大きな犠牲となつたものであります。

以上の身體的精神的兩方面の愛育が極めて重要なものであると思ひます。遊戲や唱歌の教授に際して特に此邊の酌量をせられるのを望みます。

#### (四) 託兒所の教育

上の様な譯で託兒所では特に養護が重要な教育作業になつて居りますが、其理由は更に託兒所兒童の年齢の少いことから來て居ります。東京市では場所に依つて幼稚園を兼ねるものもあつて、年齢も七歳位まで收容するものもあるが多くは四、五歳の幼稚園以下の小兒を收容するのであります。かゝる小さな子供は尙ほ理智が進まないから教授に至つては施すべきものが極めて單純幼稚でなければならぬ。而し此言を以て、すぐに託兒所の教育的方面を閑却されることが往々であるが、意志とか感情とかの人のとして教育は實に此の二葉の間に養はれて多いことを痛切に感ぜられるのであります。曾て西洋人が子

供が生れてから一ケ年の間に受くる無言の教育は實に大學教育よりも優つて大きなものであるといふのを聞いたことがあります。誠に、かゝることが普通に行はるゝことであらうと思はれます。

私が託兒所を視察して居る時に遊戲を見て居ましたら數人の子供が「叔父さん抱つこして下さい」といつて集つて來た處があつたのです。かゝることは他所では一寸見當らない所でありまして、種々考へを異にせらるゝ方もありませうが、託兒所教育の根本精神は人格的に科學的に眼覺めた家庭の職能を如實に現はすことにあらうと思ひます。そうすれば來客が來た時に自由にフランクに「抱つこ」を要求する位のことは寧ろ兎もすると人間に對して暗い感じをさせる子供に勸むべきことではなからうかと思はれます。特に濫用に陥らない範圍に於いて、子供の家庭的な訓練の立場からよく嗜くんで行きたいものと思ひます。

此の小さな白紙の様な魂に印されて行く嫁婦の微細な言語動作の一節一句が次第に其將來の大きな個性を作る基であることを考へると嫁婦の一舉手一投足の忽に出來ないことを感ぜらるゝことと思ひます、

暗い性格の嫁婦には暗い子の心が次第に結ばれて行くことは、當然のこと、いはねばなりません。嫁婦の方々が見えないところに光る精神の寶はいつか子供の上に傳はつて其れはやがて結ばれて、美しい果實を作ることでありませう。かういふ人間の完成の上に嫁婦がなさるゝ努力は誠に尊い藝術でなければなりません。ロダンやルノアールの書いた素描を見ますと其荒く描いた一見無造作な畫の中に誠に小さな苦心の窺はれるものがあります。託兒所の教育はその一つ一つの魂の單なる素描であります然かも其れは偉大なる素描であります。極めて零細な注意と觀察とを以つて、此事に當らねばならぬことの意義を判然と考へらるゝ次第であります。

#### (五) 託兒所と家庭

託兒所の特長は更に家庭との接觸の多いことであります。朝に母親が來て夕に勞働を終へて受取りに來る。此間には幼稚園兒が女中と伴はれて出入りするのとは大なる相異である。託兒所がかくして父兄と接觸の多いことは、託兒所教育が又家庭を通じての教育に貢獻するところ大きなものであります。教育が家庭と接觸することは如何なる良い方面があ

つても眞の意味の教育を徴することは出来ないのがあります。此間に父母の性格、家庭の氣分等に觸れてそこから、託兒所で補つて行くことの種々なる方面を發見することでありませう。

東京市内にも兒童を通じての社會教化に盡力して居らるゝ方々があるのであるが、此點は幼稚園教育學校教育よりも更に有力なるものである。斯様にして家庭に嫁婦の熱誠が達すれば、それが兒童に對する影響は更に大きなものであつて、事業の一つ一つに自分の生命の躍るのを感じらるゝことゝ思ひます。マルボー氏が佛蘭西に託兒所を始めたのは、一八四四年今から七十餘年前でありましてその後託兒所は各所に設けられ各國ともに其恩澤を蒙つて居ります私どもは託兒所教育に就いて更に大に經驗し觀察し考究して託兒所事業の根柢ある發達を望まねばなりません。私は託兒所嫁婦の各位に熱誠なる努力を乞ふものであります。